

なかゆくい

市内各地で行われたイベントや、
まちの話題をお届けします。
ここで“なかゆくい”しませんか。
(なかゆくい＝ひと休み)



市ホームページ「うらそえボックス」
にも市内のできごとを紹介しています。



3/7 救命の連鎖で人命救助！

ANAまじゅんらんど浦添で発生した救急事案において、迅速な判断と行動が人命救助に繋がったとして消防表彰が行われました。

令和7年1月、50代の施設利用者が倒れた連絡を受け、連携活動を行った館長の石原翔さん、従業員の松田葉月さん、饒波百合也さん、仲村元斗さん、田場鈴奈さん、まじゅんらんど指定管理社である株式会社フォスタに松本市長から感謝状が贈られました。

現場で心臓マッサージを行った石原さんは「今回すぐに対応できたのは、利用者の皆さまからの迅速な声かけがあったからです。これからも訓練を重ね、利用者の皆さまとコミュニケーションをとっていきたい」と話しました。



2/21 本格運行を目指し、ラッピングバスお披露目式

1月から実証運行中の「47番那覇てだこ線」ラッピングバスお披露目式が、てだこ浦西駅で行われました。

このラッピングは、一度廃線になった「47番てだこ線・87番赤嶺てだこ線」に、市民が愛着を持って利用したくなることを目指して、「路線バス応援団の集い」参加者からのアイデアを元に施されました。また、てだこ浦西駅を新たに起終点とし、利便性も向上しています。

式典には、みのり幼稚園の園児が応援にかけつけ、那覇バス株式会社 小川吾吉代表や沖縄都市モノレール株式会社 渡慶次道俊社長らは「市民の皆さまに『47番那覇てだこ線』を知っていただき、たくさん利用してもらいたい」と呼びかけました。※実証運行期間：4月20日まで延長予定



2/21 高校生が“うらそえ織”の魅力を伝える

市の工芸品「うらそえ織」をPRしようと、浦添工業高校デザイン科3年の生徒6人がうらそえ織について調べ、ポスターとアート作品を制作し、その作品の寄贈式を浦添市養蚕絹織物施設サン・シルクで行いました。2チームに分かれて制作を行い、「織り添え班」は幅広い年代の人にうらそえ織を広めるため、マスコットキャラクターやポスターを制作し、「うらそえ織チーム」は、アートを通してうらそえ織や浦添の歴史を知ってもらう存在感のあるアートを制作しました。母親と子どもの着物をうらそえ織の布で表現した絵を描いた喜久山明衣さんは「この絵には強さが必要だと考え、太陽は勢いをつけて描いた。下の桑の葉も、抱き上げる時の風向きや勢いにこだわって左右で方向を変えて描いた」と制作の際にこだわった点を教えてくれました。



3/8 親子で楽しく、防災について学ぶ

市と包括連携協定を結んでいる株式会社NTTドコモと、親子向けのイベントを手掛けるゆりり実行委員会とともに、サンエー浦添西海岸パルコシティにおいて「ハイサイBOSAI!親子で学ぶ防災ワークショップ」を開催しました。

このワークショップでは、子どもやその保護者の防災意識向上を目的に、各参加者が災害時にとるべき行動や、家庭でできる備蓄の準備、ダミー人形を使った心肺蘇生法などについて楽しく学びました。

参加者からは「日頃から防災について家族で話し合い、避難する場所や経路について確認したい」との声がありました。



2/23 沢岬っ子がしまくとぅばを次世代へつなぐ

沖縄県しまくとぅば普及促進事業として「沢岬伝承古謡こどもアマウェーダ儀式披露会」が沢岬小学校で開催されました。

昨年からターブック(田)作りや、稲作体験に取り組み、田植えや稲刈り、収穫までの39の稲作の過程を振り返りながら、沢岬の稲の豊作を願う古謡「アマウェーダ」を児童20人が「むる(全部)しまくとぅば」で披露しました。

当日は200人を超える来場者があり、子どもたちの披露したしまくとぅばの音を通して会場に一体感が生まれ、来場者と『感謝の結』を共有する空間が広がりました。



2/20 中学生が「特殊詐欺対策メモ帳」を作成

県内で相次ぐ特殊詐欺被害の防止につなげるため、詐欺対策のチェックリストがついたメモ帳の交付式が浦添警察署で行われました。このメモ帳は、高齢者だけでなく若者も特殊詐欺の被害にあわないよう浦添警察署の少年補導職員らが中学生に協力を呼び掛け一緒に作成したもので、地域の民生委員を通して神森中学校区内で配布されます。

メモ帳を作成した神森中学校2年生の高良青空さん、川越団さんは「被害防止につながるよう、メモ帳を活用してもらえたら嬉しい」と話し、浦添市民生委員児童委員連絡協議会の新垣和歌子会長は「中学生が関心を持って取り組んでくれた。私たちも見守り続けながら被害を防ぎたい」と話し、メモ帳100部が民生委員へ贈呈されました。



アートキャラバンでチョークアート(黒板)

1/27～2/16の間、中央公民館主催のアートキャラバンで浦添高校美術部と浦添工業高校デザイン科2年5組がチョークアートに挑戦しました。アートキャラバンは、アート(芸術)を学ぶ市内高校生を対象にチョークアートの技法を学び、実践編で公民館玄関や教室の黒板を使って作品を仕上げる講座で、令和5年度から高校へ出前講座を行っています。

令和6年度は、チョークアーティストKANAエの石川香苗氏を講師に招き、浦添高校は市制施行55周年を祝し浦添市がいつの世までも発展するよう願いを込めて、浦添市をイメージするキャラクターなどを描き上げました。浦添工業高校は1年間の思い出と題して、楽しかった思い出の一場面をみずみずしく描き上げ、それぞれ素晴らしい作品となりました。